

緑陰道路プロジェクト・モデル地区

本郷町通ケヤキ並木地区



第20回（H12年度）緑の都市賞：内閣総理大臣賞受賞

岐阜市都市建設部公園整備室

位置図



1. 本郷町通ケヤキ並木の概要

当路線（市道金町本郷町線）は、JR東海道本線の岐阜駅から北へ1.2kmの市の中央部に位置し、戦災復興都市計画で計画された幅員33mの複断面構成の幹線道路である。昭和56年度に延長L=560m区間で101本のケヤキが植栽され、現在では、歩道幅を上回る程の高さに成長し、車道から歩道まで覆う、緑のトンネルとなっている。

これまでに、「新・日本街路樹百景(平成6年度)」、岐阜県下の「大気環境木のある風景10選(平成11年度)」にも選ばれ、平成12年度には第20回「緑の都市賞」で内閣総理大臣賞に輝くなど、岐阜市を代表する街路となっており、市民からは、本郷町通ケヤキ並木の愛称で呼ばれ、市のシンボルとなっている。

現在のケヤキの大きさ
(高さ12m、目通り1.2m、葉張り12m)

2. 緑陰道路プロジェクトの概要

岐阜市を代表する街路である本郷町通ケヤキ並木が、国土交通省から緑陰道路プロジェクト・モデル地区として平成15年5月7日付けで第2次モデル地区指定を受け、5月16日に正式に通知を受けた。

- ①小泉内閣メールマガジン第80号(平成15年1月30日)で、伊藤滋都市再生戦略チーム座長が「ヨーロッパの都市のように街路樹の剪定をしないで、緑が濃い道路を造ろう」旨を提唱する。
- ②中馬・国土交通副大臣が「街路樹を自然な姿で育てるために、基本的に剪定をしないことにご理解をいただき、積極的に受け入れていただける地区を募って、モデル地区として緑陰道路づくりを実施する」と表明。
- ③国土交通省が、街路樹を自然な姿で育てるために、市民の協力をいただきながら管理していく「緑陰道路プロジェクト」の実施を決め、モデル地区を募集する。
- ④3月31日に第1次モデル地区として13地区を指定する。
- ⑤5月7日に第2次モデル地区として8地区を指定する。
- ⑥6月9日に第3次モデル地区として4地区を指定する。



※「ケヤキを選定した理由」

昭和56年にそれまでのポプラ並木が台風などで頻繁に倒れたため、成長が早く、樹冠もほうき状となり伸び伸びとした枝も美しく、春の新緑、秋の紅葉、冬の裸木と四季折々の変化が楽しめること。

※「維持管理費(年間経費)」

平均2,500千円(高木隔年支障剪定1,800千円、低木毎年剪定1,600千円)。

3. 住民による清掃活動の始まった経緯

平成5年頃から本郷自治会連合会を中心として自主的に落葉清掃活動が始まり、平成12年から市との協働作業が始まる。

平成15年4月28日に会員約200名で「本郷ケヤキ通りまちづくり協議会」が設立され、緑の育成団体として登録された。

平成16年度の落葉清掃活動(5回)の実績としては、緑の育成団体を中心として、校区各種団体(PTA、小学生、子供会、婦人会、老人会等)、市内7ロータリークラブ、農協、緑化推進研究会(市内19の造園会社)、岐阜市(基盤整備部、人・自然共生部、都市建設部)で1回あたり約50名が参加した。

4. 行政と住民の役割分担(緑陰道路管理計画)

1)方針

道路管理者と、地元で組織された緑の育成団体「本郷ケヤキ通りまちづくり協議会」との間で、役割分担を決め緑陰道路として管理する。

2)役割分担

a. 道路管理者

- ・定期的に(月1~2回)路面清掃(スィーパー)を実施する。
- ・無剪定を基本に管理し、定期的なパトロールを実施し、枯木・折れ枝等を発見し場合は、速やかに除去を行う。
- ・清掃により発生した落葉処理を行う。

b. 本郷ケヤキ通りまちづくり協議会

- ・樹木管理を無剪定管理とし、緑陰道路として管理することへの協力。
- ・日常の歩道部の路面清掃。
- ・落葉の清掃及び指定場所への集積。
- ・101本あるケヤキの中で、特に姿・形が優れた1本から取り木し、校区内の小学校児童により育成し、枯木等生じた際の補植用樹木として活用する。

c. 協働作業

- ・道路管理者及び本郷ケヤキ通りまちづくり協議会と合同で、落葉清掃を実施する。(年5回程度)

5. 今後の展望

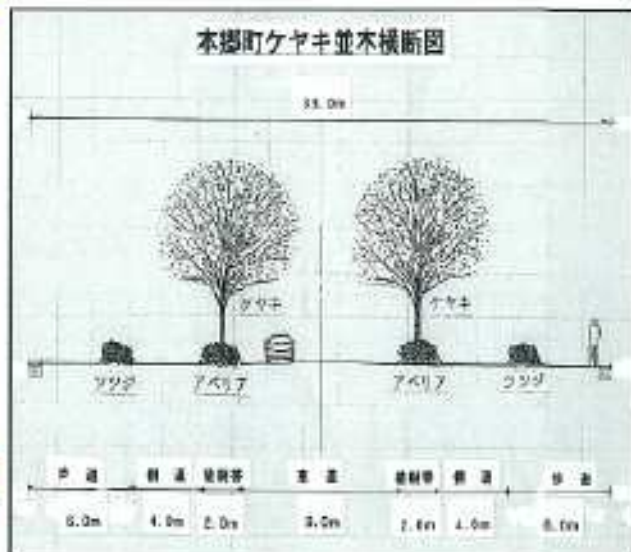
これからは経済的なゆとりだけでなく、時間的、空間的なゆとりにより裏付けられた精神的なゆとりが重要視され、快適な環境の中での生活が求められている。

この快適な環境は、自然や街並みが美しく、清潔で安全、便利だけでなく、そこに住む人々が受着や親しみ、誇りを感じられるような、個性的で魅力的な街であると考えている。

今回の緑陰道路プロジェクト・モデル地区指定を契機に、大切な緑をより良い形で次世代に継承するためにも、市民と行政が役割分担を決め、個性的で魅力的な第二、第三の緑陰道路造りに努力していきたいと考えている。

3. 今後の課題

- 1) 落葉による家屋被害への対応。
- 2) 高木支障剪定に係わる基本協定等の締結推進。(中部電力等)
- 3) 台風等による倒木事故防止対策の推進及び事故発生時の対応マニュアルの作成。



地元のまちづくり協議会は、ケヤキの取り木に取り組んでいる。枝を取って根付をした後、市内随所に植樹している。



毎年、秋になると、まちづくり協議会のメンバーが総出で、落葉の清掃に当たる。ゴミ袋は岐阜市が提供する。





1967年（昭和42年）当時の様子。当時はケヤキではなくカロリナポプラの並木道。

- 1957年（昭和32年）8月 道路改良工事完成。
- 1982年（昭和57年）3月 ケヤキ植栽工事完成。
- 1994年（平成6年）3月 歩道修景整備工事完成。



- 歩道修景整備内容
- ・カラー舗装化・ブロンズ像設置（N=9基、企業から寄贈）
 - ・おけつがーの休憩ゾーン（N=2箇所、水飲み場、ベンチ設置）

お問い合わせ

岐阜市都市建設部公園整備室

〒500-8701 岐阜市今沢町18番地
 TEL (058) 265-4141(代) FAX (058) 262-0512
 e-mail kouen@city.gifu.gifu.jp